

第84回 アジアセミナー

モザイク模様としての中国法 —現代中国における法治の現状—

コグチ ヒコタ

小口 彦太 氏

講演者

早稲田大学法学学術院教授・アジア研究機構長

● 概 要 ●

中国論の中で、法律の話は“床屋談義”に最も馴染みにくいものである。しかし、市民社会の質を考えるうえでは、法の分析は重要である。現代中国には、法治がほぼ確立した先進的法領域と法治いまだしの法領域が併存すると同時に、法治をまったく受け付けない法治空白の領域も厳然として存在する。また、先進的立法の根っこの部分に伝統的法観念が息づいている。そうしたモザイク模様としての中国法の今を語ってみたい。報告の柱は、一、中国法の第三段階、二、公権力の行使と法、三、“中華三千年の栄光の回復”（習近平）は荒唐無稽か、からなる。

2014年 4月25日 金 16:30～18:00

早稲田大学26号館(大隈タワー)地下1階 多目的講義室

- 言語：日本語
- 対象：学生・教職員・一般
- 申し込み等：入場無料 当日直接会場へお越し下さい



■ お問い合わせ 早稲田大学アジア研究機構事務所
TEL : 03-3202-2537 (内線 79-2261) E-MAIL : asianstudies@list.waseda.jp
URL : <http://www.kikou.waseda.ac.jp/asia/>
 <http://www.facebook.com/asianstudies.waseda>

主催：早稲田大学アジア研究機構